

令和3年度使用中学校用教科用図書（「技術・家庭科」家庭分野）の採択結果等について

広島大学附属三原中学校

種目	発行者	採択理由
技術・家庭 (家庭分野)	東京書籍	<p>○基礎・基本の定着に関わって</p> <p>学習のまとめにおいて、重要語句を一覧にして、内容理解を問う問題が掲載されている。題材の区切りにおいて、まとめる視点が示されており、3段階の自己評価を記入できる欄があり、自らの達成度を確認できる。</p> <p>○主体的に学習に取り組む工夫に関わって</p> <p>家庭科の学び方である問題解決のプロセス「問題の発見→課題の設定→計画→実践→評価→改善→次の課題への挑戦」に沿った内容で構成されており、キャラクターが見方・考え方を提示している。さらに、豊富な体験活動例、事前準備や企画立案段階そして実践やまとめ方の例示もある。</p> <p>○内容の構成・配列に関わって</p> <p>全体構成として家庭科でめざす「自立」と「共生」の考え方を図と写真と共に示してある。そして、ガイダンスで学習指導要領の趣旨を踏まえ小学校の家庭科の学習を振り返り、3年間の学習内容構成が図示され、学びの見通しが持てる。主題ごとの色別の表示も視覚的に理解しやすい。</p> <p>○内容の表現・表記に関わって</p> <p>「プロに聞く」という将来の生き方を描くことが出来る投げかけ、「キーワード」の提示、デジタルコンテンツ「Dマークコンテンツ」「発展」のコーナーもあり、自主的に学びを深めることが出来る。現代的な課題への対応として、SDGsの目標がイラストと共に示されている。環境・防災・情報モラルなどのマークがあり、これに関連させた課題提示、巻末に、防災・災害時の手帳が衣食住の分野それぞれについて、用意してある。</p> <p>○言語活動の充実に関わって</p> <p>特に生活の課題と実践の進め方において、計画の立て方や話し合い、実践、評価、改善の具体的な方法例を示してある。対話を助け、協働を促す思考ツールの活用例なども示してある。</p> <p>○本校の研究に関わって</p> <p>本校の探究学習のように、教科横断的な視点や、自ら課題を発見し解決していくプロセスを重視している。</p>

